

32の地の美、地の心、知の技  
**青森県伝統工芸品**  
Traditional Crafts from AOMORI Prefecture  
**OFFICIAL GUIDE BOOK**



[http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/chiikisangyo/dento-kogei\\_aomori.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/shoko/chiikisangyo/dento-kogei_aomori.html)



---

青森県商工労働部 地域産業課

〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号  
TEL:017-734-9375 FAX:017-734-8107

---

発行：2021年3月 青森県



## 青森県伝統工芸品とは

青森県には、歴史と風土に培われ、生活の中で育み受け継がれてきた工芸品が数多く存在します。

その声価を高め、工芸品製造業者の製造意欲の向上及び工芸品産業の育成・振興を図ることを目的とし、平成8年に創設しました。

### ■ 指定要件

- 1 主に日常生活の用に供されるものであること。
- 2 製造工程の主要部分が手工業的であること。
- 3 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
- 4 原材料が伝統的に使用されてきたものであること。
- 5 おおむね50年以上の歴史を有すること。

以上の要件をすべて備え、青森県伝統工芸指定審査会の意見を聴いて適当と認められると、知事から「青森県伝統工芸品」に指定されることになります。

### ■ 青森県伝統工芸品マーク



「人」と青森県の「A」を暗示しながら毛筆で「伝統性」を、底辺の長方形で「現代性」を表現しています。  
「地の美(Red)」は、青森県伝統工芸品の「美しさ」と伝統工芸士の「情熱」をイメージ。  
「地の心(Green)」は、青森県の伝統工芸品に込められた「温もり」「和む」などのココロをイメージ。  
「知の技(Blue)」は、青森県の伝統工芸品と伝統工芸士の知性ある「技」と創造性をイメージしています。

## 青森県伝統工芸士とは

県指定伝統工芸品製造業者のうち、高度の技術・技法を保持する者を県伝統工芸士と認定することにより、社会的な評価を高めるとともに、従事意欲と技術の向上を図り、伝統的技術又は技法の指導者として工芸品の振興、後継者の育成と伝統工芸品の次世代への継承に寄与することを目的とし、平成13年度に創設しました。

### ■ 認定要件

- 1 青森県内に居住していること。
- 2 伝統工芸品の製造の実務経験年数が12年以上あり、かつ現在もその製造に従事していること。
- 3 伝統工芸品の製造に関する高度の伝統的技術又は技法及び必要な知識を有し、その維持又は発展に努めていること。
- 4 後継者育成に熱意のある人。
- 5 青森県伝統工芸士にふさわしい高潔な人格を有すること。
- 6 経済産業大臣認定の伝統工芸士でない人。

以上の要件をすべて備え、青森県伝統工芸指定審査会の意見を聴いて適当と認められると、知事から「青森県伝統工芸士」に認定されることになります。

## 国が指定する伝統的工芸品

昭和49年5月25日に交付された「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき経済産業大臣が指定するもので、次の5つの要件が必要です。

### ■ 認定要件

- 1 主として日常生活に使われるものであること。
- 2 主な製造過程が手工業であること。
- 3 伝統的な技術・技法により作られるものであること。
- 4 伝統的に使用されてきた材料を使っていること。
- 5 一定地域に生産者が集まっていること。

以上の要件をすべて備え、伝統的工芸品産業審議会がそれを認めたとき、経済産業大臣から「伝統的工芸品」に認定されることになります。

### ■ 伝統的工芸品マーク



## 青森県伝統工芸士一覧

### 1 津軽塗

- ・片山 勉 / 弘前津軽塗商工業協同組合
- ・秋田 良一 / 弘前津軽塗商工業協同組合

### 2 津軽焼

- ・高野 博 / 高野陶房
- ・野呂 薫 / ひろの窯
- ・小山 陽久 / 津軽千代造窯

### 3 八戸焼

- ・渡辺 真樹 / 渡辺陶房

### 4 津軽びいどろ

- ・棟方 定正 / 北洋硝子株式会社
- ・芳賀 清二 / 北洋硝子株式会社
- ・篠原 義和 / 北洋硝子株式会社
- ・神 正人 / 北洋硝子株式会社

### 5 あけび蔓細工

- ・三上 徳仁 / 有限会社宮本工芸

### 8 ひば曲物

- ・境 勇三

### 10 南部花形組子

- ・館 功 / 館タテグ工芸

### 11 津軽竹籠

- ・三上 司

### 12 こぎん刺し

- ・三浦 佐知子 / 有限会社弘前こぎん研究所
- ・須藤 郁子 / 有限会社弘前こぎん研究所
- ・千葉 弘美 / 有限会社弘前こぎん研究所
- ・坂本 雅子 / 前田セツこぎん研究会
- ・葛西 セイ / 前田セツこぎん研究会
- ・荒木 悅子 / 前田セツこぎん研究会

### 13 南部菱刺し

- ・佐藤 玲子 / 西野刺し娘の会
- ・工藤 まさ / 西野刺し娘の会

・天羽 やよい

・中村 禮子

/ 南部菱刺し工房アトリエ縹 HANADA

・中村 瞳子

/ 南部菱刺し工房アトリエ縹 HANADA

・横井 充子

/ 南部菱刺し工房アトリエ縹 HANADA

・高橋 博子

・山田 友子

/ 南部菱刺し研究会・つづれや

・北向 春枝

### 19 きみがらスリッパ

- ・三畠 ヒロ子 / 十和田きみがらスリッパ生産組合
- ・古館 よしお / 十和田きみがらスリッパ生産組合

### 20 八幡馬

- ・大久保 直次郎
- ・高橋 利典 / 株式会社八幡馬

### 21 下川原焼土人形

- ・阿保 正志

### 22 温湯こけし

- ・盛 美津雄 / 津軽こけし工人会
- ・阿保 六知秀 / 津軽こけし工人会
- ・笹森 淳一 / 津軽こけし工人会

### 23 弘前こけし・木地玩具

- ・長谷川 健三 / 津軽藩ねぶた村

### 25 善知鳥彫ダルマ

- ・福井 強

### 27 ねぶたハネット人形

- ・今井 陽子

### 30 津軽凧

- ・成田 幻節 / ねぶた・凧のなりた
- ・溝江 由樹 / 津軽藩ねぶた村

### 31 太鼓

- ・渡辺 茂 / 渡辺太鼓店

### 32 五戸ばおり

- ・稻村 幸男

# 伝統工芸士の活動紹介

令和2年度に新たに認定された  
7名の伝統工芸士にお話しを聞きました。

丈夫な津軽竹籠を日常生活でもっと使ってほしいです



三上 司さん Tsukasa Mikami

令和2年度認定

## 現在の活動と今後の抱負

昭和31年から製作を始めました。当時、同じ集落で津軽竹籠を製作していた職人の作り方を見て学び、本業である土木作業の傍らで製作を行っていました。

作り手が減少している中ではありますが、津軽竹籠の技術や文化が途切れることがないよう、時代や消費者のニーズに合ったりんご籠や野菜籠、小物入れを製作していきたいと思います。1人で製作しているため、現状で手一杯ですが、可能な限り販売先を増やして津軽竹籠の魅力を広めていきたいです。



南部菱刺しを通して人のつながりの輪を広げていきたいです



山田 友子さん Tomoko Yamada

令和2年度認定

## 現在の活動と今後の抱負

現・青森県伝統工芸士の天羽やよい氏の作品展に足を運ぶ機会があり、作品に魅了され、平成17年に天羽氏に師事しました。その後、平成23年に自身の作品を販売するため「つづれや」を開店し、翌年には南部菱刺しの普及啓発のため「南部菱刺研究会」を結成しました。定期的に開催している教室で30代～70代の方向けに技術指導しているほか、夏・冬休みは親子向け体験会を実施し、南部菱刺しの面白さを積極的にPRしています。

今後は、家族を支える女性たちに、好きなことを仕事にでき生きがいとなるような場所を提供して刺し手を増やしていきたいと思います。



世界に1つだけの南部菱刺しを目指して毎日刺しています



北向 春枝さん Harue Kitamuki

令和2年度認定

## 現在の活動と今後の抱負

昔から何でも手作りすることが好きだったので、自身の職場の一角で開催されていた、おいらせ町ほがらか教室「菱刺しの会」に入会し、平成3年に青森県伝統工芸士・故西野こよ氏に師事しました。その後、西野氏からの依頼を受け、平成15年からほがらか教室の講師を務め、60代～70代の方を対象に南部菱刺しの技術指導をしています。

これからは、自宅でも教室を開き、若手の後継者を育成していきつつ、今まで以上に商品の販売に力を入れて、多くの人に南部菱刺しの素晴らしさを広めていきたいです。



弘前といえばこぎん刺しと言われるようブランド化を目指したい

千葉 弘美さん Hiromi Chiba

令和2年度認定



## 現在の活動と今後の抱負

こぎん刺しは、私にとって子どもの頃から身近な存在でした。

平成17年に有限会社弘前こぎん研究所に入社して以来、弘前市の出前授業や、刺し子向けの講習において講師を務めています。また、県内外でこぎん刺しのワークショップを開催し、男女問わず幅広い年代の方々に体験してもらっています。

今後も引き続き、麻布に木綿の糸という伝統は守りつつ、時代に合った商品作りを心がけ、1人でも多くの方に手に取ってもらいたいです。



県外で教室を開催して南部菱刺しをもっと広めていきたい

横井 充子さん Atsuko Yokoi

令和2年度認定



## 現在の活動と今後の抱負

弘前市出身のため、子どもの頃からこぎん刺しの経験はありました。結婚を機に八戸市へ転居した後は南部菱刺しに興味を持つようになりました。平成5年に西野刺し娘の会ユートリー教室に入会し、現・青森県伝統工芸士の中村禮子氏に師事しました。

平成30年からは南部菱刺し工房アトリエ縫 HANADA に所属しながら、製作活動に励んでいます。ほか、工房や南部会館で教室を開いて南部菱刺しの普及啓発に努めています。

南部菱刺しの認知度向上のため、小学生向けの技術指導や、県外での教室開催も計画しています。



売れる商品作りと技術の向上を両輪で進めていきたいです

高橋 利典さん Toshinori Takahashi

令和2年度認定



## 現在の活動と今後の抱負

青森県にUターンし、平成5年に八幡馬製造合資会社（現・株式会社八幡馬）に入社しました。入社当初は木工部に所属し、先輩職人から指導を受けながら技術を習得しました。

段々と土産品販売店が少くなり、普段の生活で八幡馬を目にする機会が減ってきました。そのため、小学校の総合学習の時間を活用し、積極的に児童向けに八幡馬の魅力を発信しているほか、HPの構築にも力を入れてPR活動にも努めています。

これからも、経済を回しながら伝統や技術を継承していきたいと思います。



弟子を育成して一緒に五戸ばおりの販売を拡大したいです

稻村 幸男さん Yukio Inamura

令和2年度認定



## 現在の活動と今後の抱負

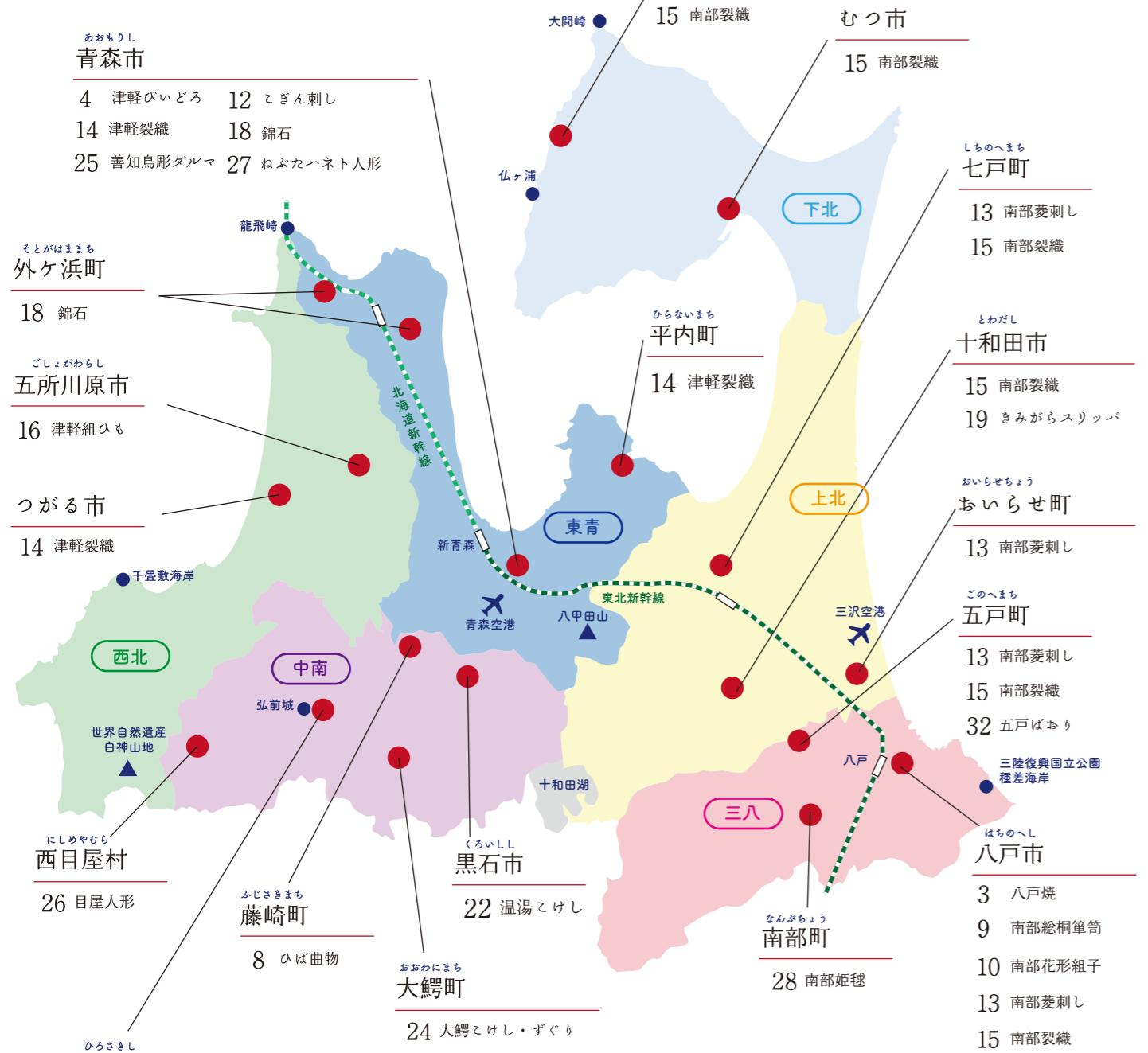
幼少期におじが五戸ばおりを作っていたため、その頃から親しみがありました。平成16年に父から作り方を習い始め、父が講師を務めていた公民館講座の講師も引き継ぎました。

現在は、毎年冬に1週間の公民館講座を開催しているほか、ごの郷土館で週2回教室を開き、五戸ばおりの普及啓発や後継者の育成に積極的に取り組んでいます。

平成19年からは、ばおりの材料となるイ草も自ら栽培しています。これからは、イ草の栽培を成功させて商品の販売に力を入れつつ、伝統を絶やさないように技術を広めていきたいと思います。



# 青森県伝統工芸品マップ



5 あけび蔓細工  
あけび蔓細工



9 南部総桐簾箇笥  
なんぶそうきりたんす



13 南部菱刺し  
なんぶひしざし



17 つがるうちはもの  
津軽打刃物



21 したかわらやきつちにんぎょう  
下川原焼土人形



25 うとうぼりだるま  
善知鳥彌ダルマ



29 えんぶりえぼし  
えんぶり鳥帽子



6 ブナコ  
ブナコ



10 南部花形組子  
なんぶはながたくみこ



14 つがるさきおり  
津軽裂織



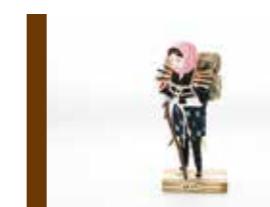
18 にしきいし  
錦石



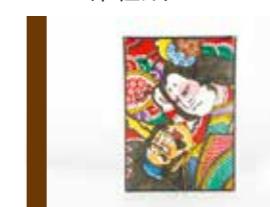
22 ぬるゆこけし  
温湯こけし



26 めやにんぎょう  
目屋人形



30 つがるだこ  
津軽凧



7 つがるきりげた  
津軽桐下駄



11 つがるたけかご  
津軽竹籠



15 なんぶさきおり  
南部裂織



19 きみがらすりっぱ  
きみがらスリッパ



23 弘前こけし・木地玩具  
ひろさきこけし・きじがんぐ



27 ねぶたはねとにんぎょう  
ねぶたハネト人形



31 たいこ  
太鼓



8 ひばまげもの  
ひば曲物



12 こぎんざし  
こぎん刺し



16 つがるくみひも  
津軽組ひも



20 やわたうま  
八幡馬



24 おおにこけし・ずぐり  
大鰐こけし・ずぐり



28 なんぶひめまり  
南部姫毬



32 ごのへおり  
五戸ばおり

